帶びた人々が、無責任極まる煽動的演說を以つて、技友會員を盛んに煽つた。技友會幹部は自己の方針、事件の眞相等何等發表せず（偶々發表すれば間違つたことのみ）事件の經過報告だもなさゞるが爲め、一般會員は自分の行く可き目標がなかつたのである。

技友會と行動を共にせる人々の多くは、事件の眞相を知り且つ友愛會の起たない理由其他の事實を自から知らうとはしなかつた。無責任な煽動的演說は直ぐ信んじても、事實と附合せざる種々なる點を何故に調べようとはしなかつたろうか？

技友會員は依然として會社の附近を赤色化し、吾々に對する迫害は益々其の度を強めた。罵詈、讒謗、遂に流血の慘を見るに至つた。技友會員は斯くして日一日と苦しき渦中に沈み行くのであつた。吾々友愛會員は狂熱的に騒いで居る彼等を見るに忍びない。技友會幹部の無方針無責任は飽くまで憎む可きであるが、何事も知らざる人々を只苦しめる事は我々の欲せざる處である。のみならず彼れも我が友であり兄であり亦

た弟である。勞働運動が眞に人類の幸福の爲めの運動であるなら、更に彼等を譯もなく苦します事は出來ない、不合理なる紛議――是を敎へなくてはならぬ。そして彼等を救ふこそ今日我等の責務である。然し乍ら彼等の熱誠は實に勞働運動の將來の爲めにも、尊敬に價するものである。

我等は斯くした見地から彼等を救ふべく此の日同情休業を宣言するに至つた。

同日夕刻會社は兼ねて豫定であつた職工昇給案を左の如く發表した。

通　知

職工昇給辭令左記次第ニ依リ交付相成候

三月廿二日各工場ニ於テ各係主任ヨリ交付

右辭令受領者ハ交付ノ手續上必要有之候ニ付キ十九日廿日兩日中ニ所屬見張備付ノ姓名簿ニ捺印ノ事

右及御通知候也